

# 白寿の湯 おふる cafe

Hakujunoyu Ofuro Cafe  
(埼玉県神川町)



今回紹介するのは白寿の湯 おふる cafe。白寿とは99歳。99歳まで生きられるようにと願いが込められた屋号である。中に入るとまるで cafe のような雰囲気でもある。

玄関で靴を脱ぎ、下駄箱の鍵をフロントに渡す。早速脱衣室へ。脱衣室にはコイン不要で使用できるロッカーが136個。脱いだものを入れる籠も36個ある。かなりのキャパシティーだ。その他、洗面台が4つあり、ドライヤーが3個具備されている。牛乳の自動販売機もある。

浴室に入ってまず驚かされるのが床である。温泉の成分でコテコテになっているのだ。白寿の湯は別名「千枚田の湯」とも言われている。確かにそのようにも見える。いや、鍾乳洞のようにも見える。このコテコテになった床の上を歩くのは少々難儀だ。何しろ、足の裏が痛いのである。この苦行を乗り越えなければ、浴槽にはたどり着けない。

洗い場は24か所あり、シャンプー、コンディショナー、ボディーソープが具備されている。女風呂には泥も具備されていたようだ。

内湯の浴槽は定員30名ほど。湯温は適温である。湯の色は褐色。この湯、汲み上げた時は無色透明なのであるが、空気に触れ、加熱されると褐色に変色するという。舐めてみるとしょっぱい。塩分濃度が高いようである。

露天風呂も広い。30名は入れる大きさだ。露天風呂の湯温はぬるめ。かなり長時間入っていてもものぼせることはない。

白寿の湯には入浴以外には様々な楽しみ方がある。マッサージやエステがある他、食事処、畳敷きの休憩場所はもちろん、3,000冊はあろうかと思われるマンガ本、様々な雑誌が置かれた読書スペースがある。マンガ本にはいちいちビニールのカバーがかぶせてあり、大切に読んでほしいとのメッセージが込められているように感じた。また、雑誌はかなりマニアックなもの、見たこともないようなものもある。このスペースには3つのハンモック、4つの穴倉、7つの押し入れのような雰囲気の個室、8個のマッサージ椅子、5個のリクライニング椅子などがあり、まさに一日中でも滞在できそうな空間である。図書館あるいはマンガ喫茶に温泉があればよいのにと持っている人にはうってつけの場所だ。もちろん、無線LANもあり、パソコンも2台ある。

ちなみに、白寿の湯はナトリウム-塩化物強塩温泉（高張性中性低温泉）で、筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの

慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)軽いコレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害など)、病後回復期、疲労回復、健康増進などに効くという。

白寿の湯を運営する会社は、他にも同様の日帰り入浴施設を営業しているようだ。いずれ取材して紹介したい。

DATA

名称	白寿の湯 おふる cafe
所在地	埼玉県児玉郡神川町渡瀬 337-1
電話	0274-52-3771
営業時間	10:00~23:00 (最終受付 22:30)
定休日	無休
入浴料	10:00~21:00 受付の場合 平日 大人 750 円、4 歳以上~小学生 400 円、3 歳未満無料 土日祝日 大人 850 円、4 歳以上~小学生 400 円、3 歳未満無料 21:00~22:30 受付の場合 平日 大人 420 円、4 歳以上~小学生 200 円、3 歳未満無料 土日祝日 大人 420 円、4 歳以上~小学生 200 円、3 歳未満無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2018 年 4 月 21 日 (土)
取材	銭湯愛好会東京支部